

【完全保存版】商品コードの作成法

これを読めば、あなたの商品管理はもっと簡単になる



商品コードはなぜ重要？

LOGILESS

楽天や Amazonといった国内主要モールで EC サイトを開設する場合、

商品ごとに「商品コード」が必要です。

さらに、商品の販売にPOSを使用する場合や倉庫での在庫管理にも、個々の商品を特定するためのなんらかの記号が必要です。

また、商品コードの付番ルールや運用ルールは、その後の事業運営の効率性や、柔軟性を大きく左右します。

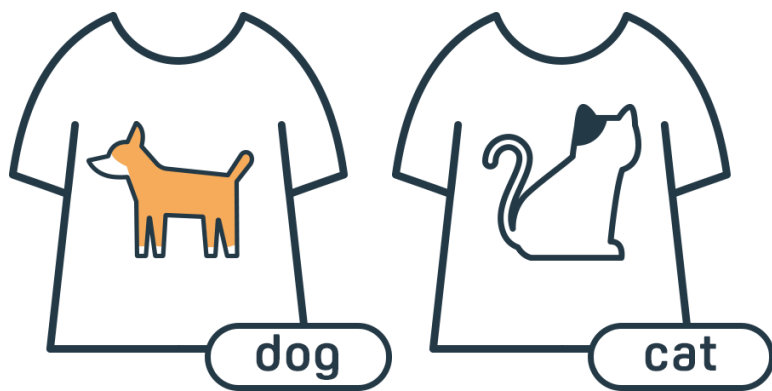
そこで、**商品コードの体系的な付け方、管理方法から、その後の受注管理、在庫管理の方法**まで基本的な考え方をまとめました。

ぜひあなたのビジネスにもお役立てください！

1. 商品コードとは
2. 商品コードを付番する単位 = SKU
3. 商品コードのルール
4. 避けたほうが良い商品コード体系
5. もっとも汎用的な商品コード規格、JAN コード
 - 5-1) JANコードとは
 - 5-2) インストアコードの利用
 - 5-3) JAN コードのメリット
 - 5-4) JAN コードの作り方
6. まとめ

1. 商品コードとは

商品コードとは、商品の管理を効率的にするために商品につける名前



例

「イヌ」のTシャツと「ネコ」のTシャツを販売中。

このとき、それぞれのシャツに“商品コード”をつければ管理が効率的に！

（「商品名」と違い、商品コードは頻繁に変更する必要がないので、ひとつの商品にひとつの値をつけて長期的に管理するのに有効だから。）

そこで商品コードを

「イヌ」のTシャツには **dog**、「ネコ」のTシャツには **cat** とした



果たしてこれは“よい商品コード”？

2. 商品コードを付番する単位 = SKU

商品コードは、**SKU** と呼ばれる単位でつけることが必要。

SKU とは Stock Keeping Unitの略で、日本語では“**在庫管理単位**”。



「イヌ」と「ネコ」の2つのデザイン（これを「**アイテム**」と呼ぶ）でも、Tシャツにはサイズがある！

→ Sサイズ、Mサイズ、Lサイズの3つのサイズがあるとする、全部で6種類の商品（2つのアイテム × 3つのサイズ）がある。

デザインと、サイズ以外には商品を区別する要素はなさそう。

このように商品のこれ以上分けることができない管理単位を **SKU** と呼ぶ。

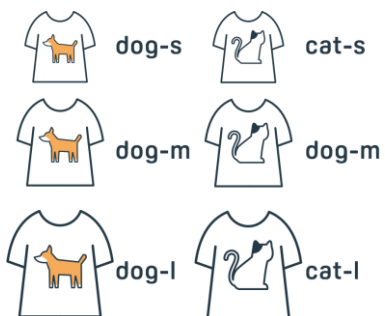
販売した商品の特定や、在庫数の管理に使うためには、

SKU ごとに個別の商品コードを発番しなければならない。

3-1. 商品コードのルール

LOGILESS

では、先ほどの6つのSKUに商品コードをつけてみましょう。



まずは、

デザインの名前+サイズ



商品点数が少ないうちは○

ただ、商品ラインナップの
拡充とともに問題が発生！



もし、
イヌのTシャツが好評！
新デザインの商品を販売する
となったら・・・



新商品は白い犬のTシャツ

→アイテム部分のコードを「dog-white」
とした

しかし、このままだと

「dog-black」、「dog-long」など
種類が増えていき、アイテム部分の商品
コードが破綻してしまう。。。

3-2. 効率の良い商品コード

将来の商品ラインナップ増加を正確に見極めることは難しい

→ 意味のある単語を含めないほうが管理効率が上がる！



効率の良いつけ方で、もっとも簡単な付番ルールは「**連番**」！

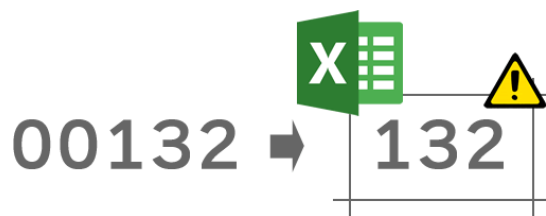
シンプルだが、分かりやすく簡単な商品コード体系のひとつ

しかし、これは未完成。

在庫管理に使うために工夫の余地がある

4-1. 避けたほうが良い商品コード体系

ここで、避けたほうがよい商品コードの付け方を4つ紹介



0からはじまる

`0001`のように「0からはじまる商品コード」は**要注意**。

Excelなどの表計算ソフトでこの商品コードを含むCSVファイルを開くと、最初の0が削除され、オペレーションミスにつながる。



日本語や記号の使用

汎用性を高めるため、商品コードは半角数字のみがよい。

日本語や記号を含むコードは、受け付けられないシステムもある。

4-2. 避けたほうが良い商品コード体系

Dog-m  dog-M

大文字と小文字の組み合わせ

アルファベットを使用する場合、大文字と小文字を区別せず必ずどちらかに統一。

誤りの原因となったり、DOGとdogを同じ値として処理することが多いため。

 **tottemo-cute-and-coc**

極端に長い

商品コードは13桁以内にとどめる。

後述の商品コード規格「JANコード」が13桁であり、ほとんどのシステムはその桁数までの対応であるため。

5. もっとも汎用的な商品コード規格「JANコード」

LOGILESS

まとめると、“よい商品コード”の条件は3つ

- ・ 連番のようにそれ自体に意味を持たず、将来のラインナップの増加に対応できる
- ・ 0以外からはじまる数字のみで構成
- ・ 13桁以内（可能であれば、桁数は統一されていることが望ましい）

この条件を満たすのが、「**JANコード**（ジャンコード：Japanese Article Number）」

JANコードとは、日本で最も流通している商品コード規格。

また、国ごとに名称が異なり、国際標準規格ではEANコード（イアンコード：European Article Number）とも呼ばれる。



JANコード

5-1. JANコードが表わす情報

JANコードは「**どの事業者の、どの商品か**」を表す、世界共通の商品識別番号

以下の3要素から成り立つ

- 事業者ごとに割り当てられた**事業者コード**（9桁、または7桁）
- 商品を特定するための**アイテムコード**（3桁、または5桁）、
- コード自体の誤りが無いことを検証する**チェックデジット**（1桁）



456995111 617 9



事業者

アイテム

チェックデジット

5-1. JANコードの特徴

JANコードは取得が必要で、これを使えば他の事業者と重複しない

- JANコードの利用には**利用者ごとに発行される事業者コードの取得が必要**で、それには手続きと手数料が必要。

- 手続きをすると、

1,000個のSKUに商品コードを発行可能な9桁の事業者コード

100,000個のSKUに商品コードを発行可能な7桁の事業者コード

のいずれかが貸与。

事業者コードから始まるJANコードを利用している限り、国内で流通しているほかの事業者の商品コードと重複しない

(複数の事業者コードの取得が可能なので、足りなくなったら追加で申請できる。)

5-2. もう一つのコード：インストアコード

LOGILESS

事業者コードの貸与には申請と維持費用が必要でも、国内の小売店に広く流通させる必要がないから、そこまでしたくない。。



「インストアコード」の利用

「インストアコード」とは2で始まるJANコード。

この数字から始まる事業者コードは発行されないので、どんな事業者も社内のみで使用する商品コードとして使ってもよい



20 0000031638 3



⋮

⋮

⋮

20 ~ 29の数字

アイテム

チェックデジット

インストアコードであることを表す

5-2. インストアコードの特徴

LOGILESS

アイテムコードとして10桁使用できる
(JANコードは3または5桁)



柔軟な利用が可能！

例) アパレルの場合

アイテム (6桁) 、 サイズ (2桁) 、 カラー (2桁) とアイテムコードを分割できる！

※補足

インストアコードであることを示す数値 (20 - 29) が2桁なのは、国際規格であるEANコードで最初の2桁が国コードとなっているため。

実質的にアイテムコードとして11桁利用できるが、慣例として、最初の2桁は部門を分割したり、コードの発番体系を分けたりするために使用されることが多い。

主なメリットは以下の3つ

バーコードでの運用が簡単

1

JANコードは多くの機器でバーコード読み取りに対応。

商品コードの桁数が固定のため、約3cm×約2cmの広さがあれば印字可能。

チェックデジットにより誤りの検出が可能

2

最後の1桁は、前の12桁の計算結果 = 1桁でも間違えば正しい商品コードにならない。

チェックデジットのない数字のみの商品コード体系では、入力ミスによる誤発送や在庫のずれが発生する可能性も

3

商品コードの長さを統一可能

JANコードの長さは13桁固定のため、桁数を統一できる。

5-4. JAN コードの作り方

JANコードは、最後の1桁にあたる**チェックデジットの計算が必要!**

チェックデジットの計算ルール:

- (1) すべての偶数桁 (2桁目、4桁目・・・) の数字を足す
- (2) (1)の結果を3倍する
- (3) すべての奇数桁 (1桁目、3桁目・・・) の数字を足す
- (4) (2)と(3)の結果を足す
- (5) "10"から、(4)の結果の最後の1桁の数字を引く

→ Excelを使えば、簡単に計算できる!

5-4. EXCELでJANコードを作成

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	12桁	チェックデジット	JANコード					
2	200000031638	3	2000000316383					
3								
4								

①A列にチェックデジットを除いた12桁を入力

20-29ではじまる12桁の数値をA列に入力。

最初の2桁以降、10桁分のアイテムコード部分の数字は任意。連番の場合は、200000000001 から順に入れていけばよい。

②B列にチェックデジットの計算式を入力

A2にはいつている12桁の数値のチェックデジットを B2 で計算。B2に次の式を入力する。

```
=MOD(10-MOD((VALUE(MID(A2,2,1))+VALUE(MID(A2,4,1))+VALUE(MID(A2,6,1))+VALUE(MID(A2,8,1))+VALUE(MID(A2,10,1))  
+VALUE(MID(A2,12,1)))*3+VALUE(MID(A2,1,1))+VALUE(MID(A2,3,1))+VALUE(MID(A2,5,1))+VALUE(MID(A2,7,1))+VALUE(MID(A2,9,1))  
+VALUE(MID(A2,11,1)),10),10)
```

③A列とB列を結合する

A2にはいつている12桁の数値と、 B2にはいつているチェックデジットを結合。C2に次の式を入力する。

```
=A2&B2
```

*正しいチェックデジットの値は、[こちらのサイト](#)で確認できます。
作成後は必ず正しい計算結果となっているかチェックしてください。

ロジレスについて

ロジスティクスをもっと自由に。

受注・出荷などの大変な業務が自動化され、配送拠点も配送方法も自由自在に選べる。

私たちは、それが「ECのあるべき姿」だと考えています。

ロジレスはネットショップと物流倉庫が共同で使うシステムです。

これまでバラバラだった情報は一元化され、全ての関係者はシームレスに繋がります。

会社概要

会社名：株式会社ロジレス

設立：2017年2月21日

資本金：1,500,000円

代表：西川真央

事業内容：EC事業者の支援事業

